

フィリピンの学用品支援募集中!

生まれる環境を選ぶことのできない子どもたちに学ぶチャンスを与えてください



子どもの人生に劇的な変化をもたらすことができます

里親制度はメトロのもっとも重要な活動のひとつであり、もっとも大規模な活動を展開している制度です。スポンサーと子どもとの関係によってこの制度は愛に満ちたものとなり、またスポンサーは子どものよき相談相手であると共に子どもの人生において真実を伝える存在となり得ます。ダニールはその一例です。

僕の名前はダニール*、13歳です。(*プライバシー保護のため仮名です)

僕はフィリピンのごみ捨て場で暮らしています。生まれて数か月後、お母さんはお姉ちゃんと僕を棄てました。お父さんも助けてくれませんでした。その後育ててくれたおばあちゃんも、ある日死んでしまいました。おばあちゃんが恋しくて恋しくて本当につらかったです。しばらくして伯母さんに引き取られましたが、伯母さんのところにも子どもがいて生活は苦しかったので、家計を助け僕自身も食べ物を確保できるように、ごみ捨て場でゴミ漁りをするようになりました。毎日、うず高く積み上がったごみの山の中で目ぼしい物を物色しています。生きるためです。

好きな曜日は土曜日です。黄色いメトロのトラックが見えると「教会学校が来た!」とワクワクします。ゲームをしたりお話を聞いたりして、イエス様のことや聖書の言葉を教えてもらいます。お祈りするのも大好きです。

メトロを知らない頃は学校にも行けませんでした。ちゃんとした靴も履いたことがありませんでした。でもメトロに出会ってから毎週教会学校に行っていたので、里親制度に登録してもらってスポンサーを探してもらうことになりました。

あの時はすごくドキドキしました! 生まれて初めて、スポンサーのおじさんからちゃんと揃った靴をもらったのです。本当に最高でした。泣きそうでした。おまけに、スポンサーのおじさんは学校に行くお金を出してくれました。僕は今、3年生です。僕は恵まれています。神様に本当に感謝しています。この気持ちを表すには、何にでも一所懸命に取り組んでがんばることしかありません!

フィリピンでもその他の国々でも、数えきれないほどの子どもたちが抗えない不遇な環境の中で大人になっていきます。皆、助けを求めて叫んでいます…肉的にも、霊的にも。でも頼れる場所も、人も、ほとんどありません。そんな中で唯一の希望は、あなたのような友人が心のこもった贈り物や祈りという形で、子どもたちが逆境を乗り越える手助けをしてくださることです。メトロの子どもたち一人一人に希望を与え未来を見せてくださることに感謝します。

同封のお申込書を
ご覧の上

お申し込みください。

4月25日〆切

フィリピンツアー

〆切3月5日。詳細は5ページをご覧ください!

イースターバスケット!

〆切3月10日。まだ間に合います!

1口3,000円、アメリカの子どもが対象です

今月号の目次

P2…アメリカツアーご感想

P3~4…インターンシップ体験談

P5…フィリピンツアーご案内

P6…重要なお知らせ/日本事務所連絡先など基本情報

アメリカ現地視察ツアーのご感想③

昨年11月15日～20日にかけて開催しましたメトロ・ニューヨークの現地視察ツアーにご参加くださった方のご感想です。先月からの続きをお届けします。

照沼千春様からのご感想—その2

3回目の場所はいつもなら200人くらい集まるのだけどちょうどその日に近くのヤンキースタジアムで子供向けのイベントがあり、そっちに行った子供達もいていつもほど活気が…。と言っていたけど、寒いのもあってかスタッフもステージから降りて子供達と踊り始め、とても盛り上がり、そして真剣なパートではきちんと Don't be greedy, be grateful. (欲張りにならず、感謝しよう)

日曜学校終了後は、今回ツアーで一緒だった武田さんご夫妻が日本から持参した竹トンボでまたまた盛り上がる。みんなどうやるの？と興味深々。寒さは忘れるほど私も楽しくとても暖かくなりました。その日はそこから地下鉄でホテルへ。荷物は事前にメトロのスタッフがホテルに届けていてくれました。

3日目は土曜日。土曜日は子供達が教会に全員大集合して教えのおさらい的な全体集会。子供達1000人とか！

まずはスクールバスで子供達を迎えに行くのに同行することに。遠くに行く組はすぐに出発しましたが、近い組はかなりのんびりの出発。その差2時間程。それくらい活動が広範囲なんだと思いました。



そのスクールバスの中の一は特別で、ビル・ウィルソン氏ご本人の運転！私は残念ながらそのバスではなかったのですが、そのバスは行く先々でずーっとクラクションを鳴らさばなしで、正にお祭り状態だったとか。ビルが来た！と町中に愛されてるのをとても感じたそうです。

スクールバス内では子供達がものすごく元気！こちらの英語力はほぼ無視でお構い無しに話してくる。元気な子供達が大勢集まり収拾がつかなくなりそうになると、すかさずメトロスタッフが大声で「ルール No1!」に続けてルールを暗唱させてまとめる。厳しくまとめる姿もさすがでした。

会場に到着するとバスごとに席を決められ座る。既に到着



してる子供達のためなのか催しも既に始まっているかの様で子供達を飽きさせない。正直私にはどこが集会の始まりなのかよく分かりませんでした。土曜日は規模の大きな集会のため、この日だけお手伝いをするスタッフもいる様子だった。この日のスタッフは会う人会う人とても暖かく声をかけてくれた。集会中は子供達が熱狂する中、スタッフは通路で子供達を見守り、喧嘩しそうな子や泣き出しそうな子を大事になる前にきちんと平等に対応していました。

トラックでの道端日曜学校と同様に、ここでも学びは Don't be greedy, be grateful. 遊ぶ所は遊び、笑う所は笑い、でも学ぶ所は真剣に子供達も取り組んでいました。大いに盛り上がって集会も終わり、またバスごとにゆっくり子供達を誘導しバスで送る。

私たちはここまででしたが、集会後は昨日一昨日で顔を見知ったスタッフが銘々に挨拶に来てくれて、スタッフもやっここで気が緩められたんだ、それくらい昨日一昨日の日曜学校は気合いを入れた真剣なものだったのだなと感じました。昨日一昨日もニコニコしつつのその気合いに気づかされました。

4日目は日曜日。この日はスタッフが自らの礼拝に行く日で、メトロは近くの高校の体育館で礼拝をしていました。最後の挨拶を兼ねて私達もその礼拝へ。メトロのスタッフは、いつもはメトロのパーカーを着てますが、ここでは個々のスタイルで新鮮でした。



ここの牧師さんは Seek! Hear! Obey! を繰り返してました。私は聖書の教えには疎いですが なんとなく分かる気がしました。

礼拝後 またスタッフのみんなが銘々に挨拶に来てくれました。本当に暖かい気持ちになりました。私も最後に会いたいけど見当たらないスタッフもいて、聞けば日曜日に道端日曜学校をやっているチームもあるとか。

今回参加してみて、一番はやはり「小さくても今できるこ

とをやる！」です。クリスチャンじゃないのにとかあんまり気にせず、できることをできるだけやろうと思えました。

英語力を上げてもっと子供達ともスタッフともコミュニケーション取れる状態になって、また行こう！と思ってます。それくらい素晴らしい体験でした。まず毎日を小さくても今できることをやる！で行こうと思います。

今回はこの様な機会をいただいて 本当にありがとうございました。

メトロ・フィリピンの インターンシップ(研修)に参加して

2018 年秋にフィリピンでインターンシップに参加されました高嶋千絵様からのレポート—その2

参加したきっかけ 「こたえはここにある！」



道端教会学校 (司会・バイブルメッセージ)

司会をするときはタガログ語、メッセージをするときは英語で。脳は常にフル回転。たまに逆回転。そんな私をいつも神様は助けてくださいました。「絶対できる！」そう信じることをささできれば、あとは神様と一緒に全力投球！
道端教会学校…いつかきっと日本でも！祈りましょう!!

でも、人間というのはどうしても嫌だった。みんな私のことが嫌いだから。でも、あるとき道端教会学校のお話を聞いて嬉しかったの。愛されるのを待っていないで、私から愛していくことを神様は喜ぶって話。それは、今まで私がしていなかったことで、これからの私にはできることだって気がついた。嬉しかった。だから私は、それを教えてくれたあなたを愛そうと思って…ずっと言いたかったことはね『千絵、ありがとう』だよ。」

涙がとまりませんでした。彼女はいつもうなだれていたし、笑顔も見せなかったの。悩みごとがあるのだとばかり思っていました。そうではありませんでした。神様が彼女に触れておられたのです。私はつたない英語でしか伝道することができませんでした。しかし、だからこそ私の力ではなく、これが神様の業であったことが明確にわかります。彼女の信仰が彼女をなおした。心から感謝です。

研修生の私も、司会やメッセージをさせていただきました。いろいろなドラマがありましたが、ここでは一つだけ紹介させていただきます。

ある日、道端教会学校が終わって、片付けやミーティングを済ませ、みんなでその場を去ろうとしたとき、一人の女の子が私の服を引っ張りました。「どうしたの？忘れ物？」と聞くと、首を横に振ります。その次の週も、そのまた次の週も、終わった後にやって来て、同じように服を引っ張るのです。何か話したいことがあるようでしたが、どうしても話せないようでした。そして、私が研修を終えて日本に帰国すると、その子から SNS を通してメッセージが届きました。やはり何気ない会話のやりとりが続くので、私は思い切って彼女に聞いてみました。「何かあった？話したいことがあるんじゃない？」そう聞くと、彼女はこうこたえました。「私を愛してくれている神様は好き。で



道端教会学校 (賛美の時間)

涙を流しながら、声のかぎり賛美をする子どもたち。神様が喜ぶ賛美は、きっとこういう賛美なのだと思います。家族を亡くした子、生活の糧を求める子、それぞれに背景がありますが、そんななかでも「あなたは素晴らしいお方です」と神様に賛美します。ハレルヤ。

たくさんのドラマがあった道端教会学校。神様は、研修を終えた今でもその恵みを見せ続けてくださっています。

次号へ続く（次号からも充実した体験談をお届けします）



道端教会学校（お祈りの時間）

子どもたちは神様との交わりを楽しみにしています。一箇所、毎週 300 人くらい集まります。終わった後は、スタッフが手を置いて個人的にとりなしの祈りもします。教会学校のチラシに祈祷課題を書いてくる子もいるのです。



道端教会学校（紙芝居の時間）

バイブルメッセージが終わったら、それでおしまいというのが通常の教会学校。メトロはそこに紙芝居をオリジナルで作成し、毎回まねきまでもっていくます。



道端教会学校（片付け）

「僕も神様のお仕事がしたい」…そう言って掃除を手伝ってくれました。おいしい給食をもらったばかりなのに、それを置いてやってくれました。それにつられて周りの子どもたちも参加。ベトベトのゴミを素手で拾う姿も。



道端教会学校（配給）

教会学校が終わると、毎回給食が配られます。おかゆ、まめごはん、パン。私たちが食べているものとは味も質も違います。高級ではなくても、手作りのぬくもりを感じながら、嬉しそうに食べている子どもたちを見ると、こちらも嬉しくなります。



生まれたときから最悪の住環境の中で育ち、子どもたちにはそれが世界のすべてです。でも、メトロの黄色いトラックがやってくると、最高に楽しいときが始まります。



ぜひフィリピンの現地ツアーにご参加ください。直接メトロの働きを見て、子どもたちに会えば、サポートの意義を実感できます。

メトロ・フィリピン視察ツアーご案内

4月4日(木)～7日(日)開催！お申し込み〆切は3月5日(月)です。

フィリピンの現地視察ツアーを開催します。

アメリカより、日程的にも金額的にも大変参加しやすいと思いますので、ぜひご検討ください。参加のご意向のある場合は、以下の内容をお知らせください。お申込用紙をお送りします。

皆様の利便性を考えると、出発地は関東方面になると思います。国内便の接続によっては、7日中にご自宅に戻ることができない場合もありますので、ご了承ください。

お知らせいただきたい内容

- ①お名前、②ご連絡先のお電話番号、③ご住所、
④ご参加人数、⑤メールアドレス

ツアー日程

4月4日(木)	日本出発(空港、時刻未定)
〃	マニラ着(現地時間、時刻未定)
4月5日(金)	メトロ・スタッフ・ミーティング参加
〃	子ども訪問または現地活動に同行
4月6日(土)	道端教会学校参加
4月7日(日)午前	礼拝参加
〃 午後	マニラ出発(現地時間、時刻未定)
〃 夜	日本着・解散(空港、時刻未定)

空き時間には、ご意向に合わせて観光や自由時間を入れる予定です。

*ツアー代金は、10万円前後、参加人数によって変動します。

*お住まいの地域から出発空港までの国内移動につきましては別途手配をお願いします。

*現地の気温は35度くらいで、屋外の活動が中心になります。

*ご支援いただいている子どもさんとお会いできますよう、現地のスタッフが調整いたします。



ビル師からのメッセージ

戦いに勝利する

2018年は大忙しの一年でした。メトロ本部では、私の献身生活50年と70歳の誕生日の行事があり、私個人としてもメトロとしても節目の年となりました。ここまで決して平坦な道のりだったわけではありません…もっとも、私の活動の中に容易なものはず見当たりませんが。正直言って、この50年間、諦めても当然と言える苦難は何度でもありました。

しかし、ダビデがゴリヤテとの戦おうとする時、味方の陣に投げかけた疑問と同じく、私たちはこう言うのです。「Is there not a cause?(Iサム17:29,KJV)」と。すなわち「そこに目的が、大義があるではないか」と。

いつもメトロレポートをご覧になっているあなたも感じていらっしゃることでしょう。以前よりも緊急性は増していて、大義、必要は十分あり、すぐに取り組むべきですが、実際には間に合っていないのだ、と。私たちは目的があるからこそ戦っているのではないですか？ そう、そこに大義があるから

こそ、懸命に取り組む価値があるというものです…この50年間、私が常にそうしてきたように。それが、私の選択です。そしてあなたも同様にそれを選び取ることができるのです。

誰もが戦いの前線に立てるわけではありません。しかし誰もが貢献することができるのです。いつの時代も、遣わす者と遣わされる者とはそういうものです。そして、福音を伝え変化をもたらすためにはどちらも必要なのです。今、あなたはダビデになる気がありますか？ 子どもたちにイエスとその救いを伝え、その世代の成長に尽力できるのか、という巨人からの挑戦を受けて立ちますか？

その覚悟を持てる人は多くないでしょう。それでも今、あなたをお願いします。どうか、この子どもたちのために私たちと共に戦ってください、と。

心を込めて

ビル・ウィルソン

日本事務所からの重要なお知らせとお願い

ケニアツアー開催月変更！

1月のレポートの年間スケジュールの中で、ケニアの現地視察ツアーを8月開催と掲載していましたが、変更になりました。

9月以降の開催になりますので、日程が決まり次第、レポートでお知らせします。

日程および金額共にアメリカと同じくらいと考えていましたが、現地からは観光するためには、1～2日余分に確保した方が良いというアドバイスがありましたので、7～8日間ほどの日程になると思います。

日本からは行けるチャンスがなかなかない場所ですので、ぜひ休みを調整して、参加の方向でご検討をお願いします。

日本セミナー

開催希望者募集中！

ビル・ウィルソン師が6月28日から7月7日の日程で来日予定です。

教会、その他の会場での開催をご希望の場合は、日程を調整しなくてはなりませんので、できるだけ早くご連絡ください。

ブルックリンのスラム街で、無謀とも思える働きを始め、40年足らずで世界規模の働きにまで成長できた信仰の秘訣は、全ての人々の人生の歩みに大きなヒントを与えます。

ぜひご自分の地域での開催の実現のために、ご協力ください。



ビル師からのお願い

メトロ本部では、世界中の物価の上昇に対応するために、子どものスポンサー代金を今年から変更しました。

日本事務所でも、先月のレポートの中でスポンサー代金の変更のお知らせをいたしましたが、さらに、ビル・ウィルソン師から皆様に重要なお願いの手紙が届きましたので、このレポートに同封いたしました。

ぜひご一読いただき、大変お手数ですが、日本事務所に皆様のご意向をお知らせくださいますようお願い申し上げます。

なにとぞ、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。(万代栄嗣)

日本事務所よりごあいさつ！

春を感じる日々となってきました。お元気で過ごしましょうか。

新年度を前にして、進学、就職、転勤など、ご自身やご家庭の中で様々な変化を体験しておられる方々もいらっしゃると思います。

たとえどこにいても何をしようとも、いつもイエス様が共にいてくださいますので、大丈夫です。変化を積極的に受け止め、確実によい成果を生み出していきましょう。

主を信じる者には、神がすべてを益にして報いてくださることを信じています。主にある希望を持ち、常にクリスチャンの輝きを放っていきましょう。

皆様の尊いご支援に心から感謝し、主の豊かな守りと祝福、勝利の満ちあふれる日々となりますようお祈り申し上げます。



日本事務所代表 万代栄嗣(まんだい えいじ)

メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6階 TFC内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchildjapan.blogspot.com/>



すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン